

平成 23 年 10 月より約 1 ヶ月間、徳島大学病院にて気管挿管病院実習を行わせさせていただき、大変お世話になりました。

今までは先輩方の挿管の補助ばかりをしており、実際患者様を目の前にし、挿管を行った時は緊張と興奮で先生方に指導されたままに行い、自分で何も考えずに終わってしまったような気がします。本当に大丈夫だったのだろうかと不安で仕方ありませんでした。30



症例が終わり現場に復帰し、患者様を以前とは違う目で見えるようになった気がします。体の大きな人、小さな人。それぞれに応じて活動しなければなりません。

今回の挿管実習で学んだなかで一番大切なのは、何に於いても“準備”だということです。消防学校入校時代、教官が「われわれの会社は準備の会社である」とおっしゃいました。漠然と消防の世界に入った私には目から鱗のような話でした。が、どんな世界であってもそれはあたりまえであると実感させられました。

いつ、どこで、どんな災害、要救助者に出会うかわかりません。実習で教えてくださったことを現場で発揮できるように日々訓練し“準備”していきます。

短い間でありましたが、若輩者の私のために貴重な時間を割いてまでご指導していただいた麻酔科の先生方、看護師の方々には深く感謝を申し上げます。

本当にありがとうございました!!

美馬市消防本部

梶谷 勇斗